

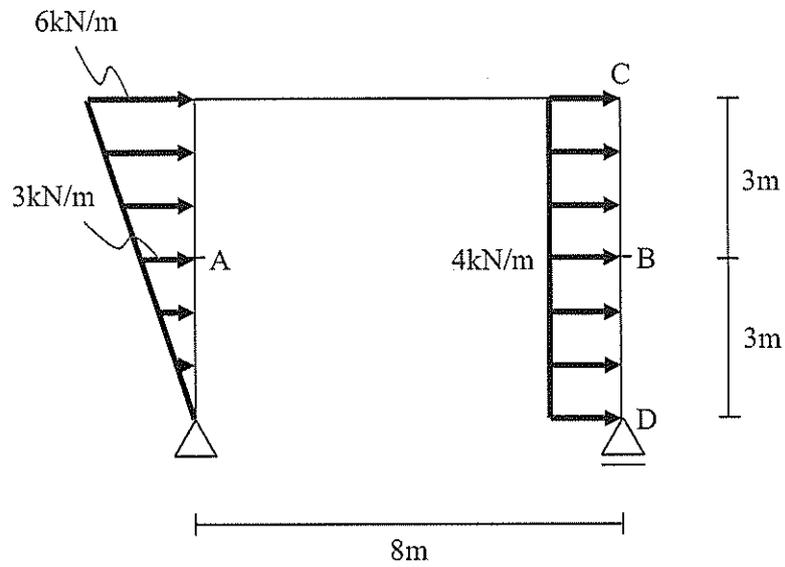
都市系専攻	科目名 基礎科目 (建築学基礎)
-------	------------------

**第3問**

建築環境工学に関する以下の設問に答えなさい。解答には適宜、数式および図を用いてもよい。数式を用いる場合は記号の定義を示すこと。

- (1) 快晴時の地表面における法線面直達日射量と太陽高度の関係について説明しなさい。
- (2) 明所視における波長と視感度の関係について説明しなさい。
- (3) 残響時間の定義を説明しなさい。
- (4) 材料の含水率が上昇すると熱伝導率が低下する理由を説明しなさい。
- (5) PMV と PPD の関係について説明しなさい。
- (6) 必要換気量を求める式を導出しなさい。

問26 図のような分布荷重が作用する架構において、A点とB点におけるせん断力と曲げモーメントの大きさとして、最も不適当なものは次のうちどれか。番号を書け。



- (1) A点に作用するせん断力の絶対値は46.5 kN
- (2) A点に作用する曲げモーメントは126.5 kN・m
- (3) B点に作用するせん断力の絶対値は12 kN
- (4) B点に作用する曲げモーメントは18 kN・m